

PRESS RELEASE

2008年8月26日
野村不動産株式会社

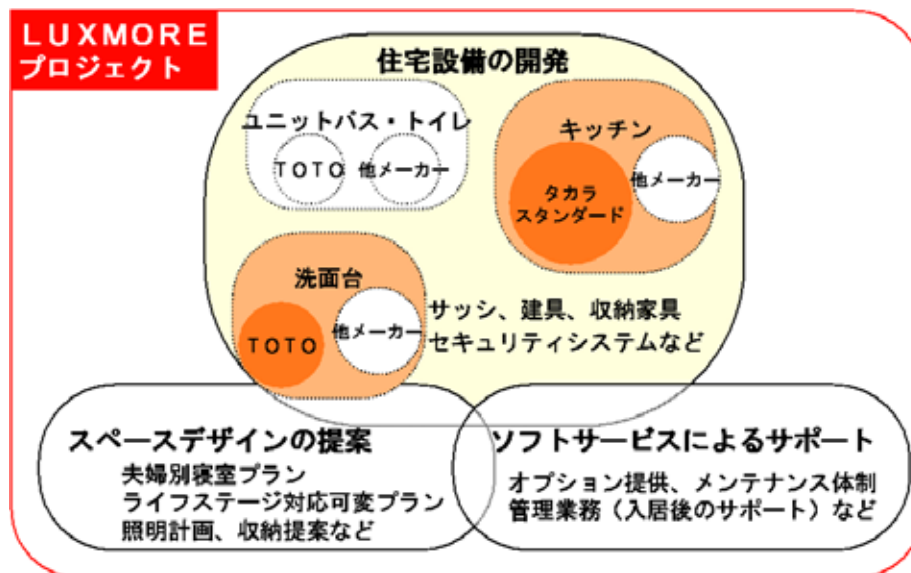
報道関係者各位

～もっと暮らしを「楽に」「優雅に」～
快適でストレスのない住まいの追求 “LUXMORE”(ラクモア)プロジェクト始動
プライド会員との対話をもとにキッチンや洗面台をメーカーと共同開発

野村不動産株式会社(以下、野村不動産 本社:東京都新宿区 取締役社長:鈴木弘久)は、住まいの会員組織「プライドクラブ」会員とのコミュニケーションをもとに、家事の負担やストレスを軽減し、住みやすさを追求するプロジェクト“LUXMORE”(ラクモア)プロジェクトを展開し、今後のマンション商品開発において「住み心地」にこだわった住まいを開発、提案していきます。

“LUXMORE”(ラクモア)プロジェクトでは「LUX」(優雅さ)と「ラク」(無理をせず楽な動作を)をもっと「MORE」住まいにという発想のもと、暮らしに関する不満、困りごと、いざという時の不安に対応するために、住み心地を形成する3要素 住宅設備の開発 スペースデザインの提案 ソフトサービスによるサポートにおいてさらなる優しい住まいづくりを目指します。

プロジェクトの第1弾として「システムキッチン」をタカラスタンダード、「洗面化粧台」をTOTOと共同開発いたしました。



【ラクモアプロジェクト概念図】

商品開発の過程では、プライド会員に対し「住まいに関する困りごと調査」を実施。そこでは、いわば住まいのベテランであるシニア層を中心に

- ・ 家事作業がちょっと負担になってきた。
- ・ 家事の姿勢や動作が辛い。
- ・ 将来を考えるといざという時が不安。

などの声が挙がりました。そうした声を反映し、シニア層のみならず全ての人に使いやすいデザインを意識したプロトタイプをメーカーと共同で制作し、野村ビル内会議室に実際に展示。プライド会員に直接確認をしてもらったうえで座談会を開催し、さらに意見をフィードバックし商品企画に活かしました。

野村不動産では本プロジェクトによる上記共同開発商品(システムキッチン・洗面ドレッサー)を「プライドシティ上大岡」(横浜市港南区、総戸数113戸、平成20年9月第1期販売予定)より導入。

また、LUXMORE 特設WEBサイト([www. http://www.proudclub.net/will/080724/luxmore_01.html](http://www.proudclub.net/will/080724/luxmore_01.html))をスタートしました。今後、プライドシリーズでは「住宅設備」の開発のみならず、「スペースデザイン」提案、「入居者ソフトサービス」に至るまで住み心地にこだわった“LUXMORE”(ラクモア)プロジェクトを積極的に展開してまいります。

PRESS RELEASE

暮らしに、さらなる優しさを。 Luxmore

共同開発商品のご紹介 <システムキッチン> (タカラスタンダード)

～主な商品特徴～

「高い位置の収納は結局使っていないんです」という声から、調理中の動作、収納力を検証。試行錯誤してフラットアップ扉が誕生。将来、シンク下にニースペースを設けることもできるなど、細かい配慮もなされています。



システムウォーム収納

手の届きにくい高所の吊戸棚を半分にして、キッチンの開口部を広げました。下段はフラットアップ扉とし、調理中も開放したまま使えます。

フラットカウンター

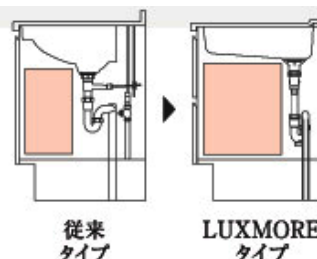
会話を楽しみながら調理のできる、リビングと一体感のあるフラットカウンターです。

リモコン付きレンジフード シンク前包丁差し
調理スペース拡大

共同開発商品のご紹介 <洗面ドレッサー> (TOTO)

～主な商品特徴～

ワイドな開口にニースペースを設け、洗面台の用途を拡大。ユニバーサルデザインの研究所のノウハウを活かし、汚れの気になる水栓の立ち上がりや排水口のフランジを無くすなど、清掃性や操作性にも考慮しました。



フロートライン水栓

上から水が出るので、かがまずに使えます。水垢の気になる水栓の立ち上がりをなくしました。背の高い花瓶に無理なく水が注げます。

洗面ボウル下の収納を拡大

配管が通常のものより奥に設置することで収納スペースを拡大させました。

ニースペース フラットレンジ排水 足元の蹴込み
ドライエリア確保

以上

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産株式会社 広報部 (石川・柿原)

TEL: 03-3348-7805 ・ FAX: 03-3343-0445